

◆ 平成22年度 事業計画 骨子

区社協活動の目的

◆【1人の100歩より、100人の1歩】の実践

「神奈川県23万人ネットワーク」を目指して

～ともに作り上げていくために～

重点項目

1. 地域福祉活動計画 策定4年目の区域実践展開へのチャレンジ
 - (1) 計画助成金「わくわく、ステップ」2年目の活用充実
 - (2) 推進委員会を中心とした地域実践展開への取り組み
 - (3) 「地域をつなぐ交流会」各テーマ別開催2年目の充実

2. 21地区社協支援を目指した地区版活動計画支援と財源支援
 - (1) 活動計画モデル地区支援
 - ①子安通1丁目地区 計画策定4年目の充実支援
 - ②大口・七島地区 計画策定1年目の実践取り組み支援
 - ③第3地区 計画策定への初年度取り組み実践
 - (2) 18地区社会福祉協議会への活動計画策定への踏みだし
 - (3) 地区社協財源支援のための年末たすけあい募金の見直し

3. 新生 ボランティアセンターの具体的始動
 - (1) 新 ボランティアセンター運営委員会 2年目の取り組み
 - (2) ボランティア人材の養成・育成・向上

4. 小地域支援活動展開のための区社協事業見直しへのチャレンジ
 - (1) 区社協事業の見直しをかけ、地域展開へのスペースを作り出す。

主要項目

1. ボランティアセンターの2年目の具体的始動
2. 福祉教育手厚い支援強化Ⅲ
3. あんしんセンター事業の信頼度向上Ⅲ
4. 障害児(者)支援活動ステップアップⅢ
5. 子育て支援バックアップⅢ
6. 区社協機能強化Ⅲ

22年度 事業計画

神奈川県における地域福祉活動者のみなさまと共に、思い、考え、知恵やアイデアを結集して策定をした「地域福祉活動計画」については、今年度策定後4年目を迎えます。

これまでの3年間は「まずは活動計画の周知、広報、案内、宣伝」と計画自体のお披露目を最大にして最高の目的として位置づけ、「1人の100歩より100人の1歩」を合い言葉にさまざまな場面、場所、機会を捉えては計画アピールに力を注いで参りました。

また、3年目の昨年度は「テーマ別の地域をつなぐ交流会」の実施など計画実践の成果を手応えとして感じながら、より計画周知の浸透度を深める活動に終始した活動をしてきました。

いよいよ4年目の今年度は、区域・地区域への計画実践を中心に据えた取り組みの本格化に挑みます。

併せて、地区版の活動計画も第2モデル地区の大口・七島地区におきましては昨年度末に「大口・七島地区 地域福祉活動計画」の策定完了を経て、いよいよ地域実践の一步を踏み出します。

「他人事から自分事へ」・・・この意識を深め、地域のみなさんが「我が家を思う気持ち」でお住まいの地域、地元の方々とのパートナーシップを強めて、昨日より今日、今日より明日へと繋がる「あなたの一步」を踏み出し支えていく神奈川区の社会福祉協議会活動を目指します。

区社協活動の目的

◆【1人の100歩より、100人の1歩】の実践

「神奈川県23万人ネットワーク」を目指して

～ともに作り上げていくために～

区社協活動重点項目

1. 地域福祉活動計画 策定4年目の区域実践展開へのチャレンジ

- (1) 計画助成金「わくわく、ステップ」2年目の活用充実
- (2) 推進委員会を中心とした地域実践展開への取り組み
- (3) 「地域をつなぐ交流会」各テーマ別開催2年目の充実

2. 21地区社協支援を目指した地区版活動計画支援と財源支援
 - (1) 活動計画モデル地区支援
 - ①子安通1丁目地区 計画策定4年目の充実支援
 - ②大口・七島地区 計画策定1年目の実践取り組み支援
 - ③第3地区 計画策定への初年度取り組み実践
 - (2) 18地区社会福祉協議会への活動計画策定への踏み出し
 - (3) 地区社協財源支援のための年末たすけあい募金の見直し
3. 新生 ボランティアセンターの具体的始動
 - (1) 新 ボランティアセンター運営委員会 2年目の取り組み
 - (2) ボランティア人材の養成・育成・向上
4. 小地域支援活動展開のための区社協事業見直しへのチャレンジ
 - (1) 区社協事業の見直しをかけ、地域展開へのスペースを作り出す。

区社協主要事業項目

- (1) 新生ボランティアセンターの2年目の具体的始動
 - ①ボランティアセンターの基本姿勢の再構築
「核となる機能」と「支える機能」を点検し、その枠組みの中で必要とされるボランティアセンターのあり方を構築する。
 - ②ボランティア育成
幅広い世代を対象にボランティア講座等の実施により、次代を担うボランティアの発掘、育成を図る。
 - ③拠点運営に絡めたボランティア相談・援助活動
 - (ア) 日常的ボランティア相談、需給調整等の実践。
 - (イ) ボランティア情報提供の拡充。
 - (ウ) ボランティア連絡会との有機的連携。
- (2) 福祉教育手厚い支援強化Ⅲ
 - ①中高生対象の夏休みサマースクール（体験学習）の実施。
 - ②小・中・高校、大学生並びに地域団体などへの福祉教育支援活動。
 - ③企業・団体を意識した福祉教育アプローチ活動。
- (3) あんしんセンター事業の信頼度向上Ⅲ
 - ①契約利用者への定期訪問による生活支援充実。
 - ②あんしんセンター機能の多方面へのPR。
 - ③地域包括支援センター等関連機関との実質的な連携強化。

- (4) 障害児（者）支援活動ステップアップⅢ
 - ①学齢障害児余暇支援事業の向上。
 - ②障害者の日キャンペーン事業の実施。
 - ③区作連、活動ホーム、グループホーム等との連携・強化。
- (5) 子育て支援活動の充実Ⅲ
 - ①神奈川県子育て情報ホームページ「はぐはぐ神奈川」への運営支援及び将来的な運営方針の検討
 - ②子育てサポートシステムの実践。
- (6) 生活支援貸付事業Ⅲ
 - ①生活福祉資金貸付事業の実施。
 - ②小災害緊急援護事業の実施。
 - ③低所得者への法外援護事業実施。
- (7) 共同募金配分金の配分基準の見直しⅢ
 - ①赤い羽根共同募金、年末たすけあい募金の配分基準の見直し。
- (8) 外出支援・送迎サービス事業の展開と見直しⅢ
 - ①道路運送法第79条にもとづく社会参加支援事業の実施。
 - ②外出支援・送迎サービス事業全体の時代に合わせた見直し検討。
- (9) 区社協組織強化Ⅲ
 - ①理事、評議員等による更なる組織運営の強化。
 - ②部会、分科会、委員会の効果的な開催。
 - ③事務・会計処理の合理化・迅速化（エレクトリックバンキング等）による法人運営の更なる適正管理。
- (10) 福祉保健活動拠点の効果的な運営Ⅲ
 - ①指定管理者として、「福祉保健活動拠点」の利用者である福祉活動者の満足度向上と効果的な運営。
 - ②拠点業務としてのボランティアセンター業務の充実・強化。
- (11) 地域福祉関係団体の事務局機能の実施Ⅲ
 - ①神奈川県共同募金会横浜市神奈川区支会
 - ②日本赤十字社神奈川県支部横浜市地区本部神奈川区地区委員会
 - ③神奈川区遺族会（但し、会計全般は団体の自主管理）
 - ④神奈川保護司会（但し、会計全般は団体の自主管理）
 - ◆事務支援・協力団体
 - ①更生保護女性会